

	重点的に取り組む課題と目標	目標を達成するための活動計画	活動の成果・振り返り
①	<p>テーマ：地域の見守りネットワークの構築</p> <p>【課題・背景】</p> <p>地域の特性として、駅近隣は利便性が高く高齢になっても自立した生活が継続しやすいが困った時に地域とつながりがなく相談できない、民生委員の交代や欠員が多い地域もあり。身近な地域での見守りの重要度が増している。</p> <p>地域での見守り体制の構築と、困った時に相談しやすい環境を整備していくことが必要である。</p> <p>【目標】</p> <p>民生委員、地域住民、社協、見守り相談窓口、地域の企業などとの協働により顔の見える関係づくりから、地域の見守りネットワークを構築していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生委員や見守り協力員との地区連絡会をエリア別に開催。地域での日常的な見守り活動に役立つ配食サービスの紹介や栄養の講座、早期の対応が重要である認知症について講座等と事例紹介やグループワークでの情報交換を通じて民生委員や見守り協力員との連携強化を図る。</li> <li>・ 愛宕4丁目の移転した都営団地について、移転後に住民からアンケート実施し、住民同士のつながりを望んでいることが確認できた。その結果を元に住民との話し合いを行い一緒にできることを検討し実施に向けて進めていく。</li> <li>・ 地域の見守り活動の最前線でもある配食サービスと地域と密接している民生委員との情報共有の場を持ち、【食の確保】と【見守り】をテーマに見守りネットワークの構築を図る。</li> <li>・ 認知症カフェでの出張相談、圏域内で活動している通いの場の訪問、地域福祉推進委員会の参加などにより、顔の見える関係をつくり身近な相談窓口として包括の周知を図りネットワーク構築を図る。</li> </ul>	

	重点的に取り組む課題と目標	目標を達成するための活動計画	活動の成果・振り返り
②	<p>テーマ：認知症の方への地域の理解と互助、集える場づくり</p> <p>【課題・背景】</p> <p>高齢化が進行し認知症に関する相談が増えて いる中で、認知症になっても安心して暮らし続 けられる共生社会の実現に向けた地域づくりが 必要とされている。</p> <p>そのためには、地域住民の認知症の方への理 解と互助、認知症の初期段階で孤立しないよう に地域で集える場などの地域づくりが重要であ る。</p> <p>【目標】</p> <p>認知症の方への理解を地域住民に深めてもら う。地域の互助により認知機能が低下しても地 域で集える場を継続していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症を知る月間に向けて普及啓発を含めサロン・近ト レなど訪問にてミニ講座を実施。また、多世代への普及 啓発に向けて地域福祉推進委員会でつながりのある児童 館、学童クラブ、中学校に認知症サポーター養成講座の 開催についてアプローチしていく。</li> <li>・ 永年の活動により定着した「すみれカフェえがお」、R6 年に立ち上がった「カフェあたご」の2か所の認知症カ フェについて、出張相談も兼ねて参加しながら支援して いく。</li> <li>・ 昨年度に認知症サポーター養成講座を実施した「すみれ カフェえがお」からステップアップ講座の希望もあり、 西部包括と合同にて企画実施。その他、チームオレンジ となる可能性のある団体へアプローチしながらチームを 結成していく。</li> <li>・ つむぎ館での元気チェック&amp;やさしい脳トレからの自主 グループ化（認知力アップトレーニング ver,）も見込 み、つむぎ館での説明会の開催を検討。</li> </ul>	

## 令和7年度 北部地域包括支援センター活動計画

令和7年度地域包括支援センターの運営方針に基づき、下記のとおり計画を策定する。

### 1 総合相談支援業務

#### 【活動方針】

地域の高齢化がすすみ高齢者世帯も増加する中で、地域の見守りにより早期発見され相談につながるケースも多くあり、民生委員との地区連絡会ではエリア別に地域での見守り活動について検討する。また、身近に相談できる場として地域に出向き出張相談を兼ねた認知症カフェの参加や元気チェックなどの活動も継続して行う。

#### < 必須項目 >

【項目】 地域特性に応じたテーマを設定した民生委員連絡会の開催	目安根拠: 圏域で1回(地域課題会議と分けて開催する)	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> (テーマ案: 食と栄養、認知症) 第1エリア(関戸・一ノ宮): 前年度のアンケートを参考に、引き続き <b>【地域の見守り活動】</b> をテーマとして8月と1月に開催する。今年度はより日常的な見守り活動に役立つ内容をピックアップし <b>【食・栄養】</b> をサブテーマに講座や事例紹介、グループワークを実施しながら、民生委員と円滑な連携強化を目指す。 第5エリア(愛宕・乞田): 愛宕地区は団地が多く高齢化率も高い。今は5人に一人が認知症を発症と言われているため地域で活動してくれている民生委員や見守り協力員の方たちに認知症を知ってもらい早期に発見、対応できる体制を整えていく。		3回 (目安1回)	回
<b>【年間振り返り】</b>			

【項目】出張相談会の開催				目安根拠:年12回				目標値	実績
【実施手段】								18回 (目安12回)	回
認知症カフェ(すみれカフェえがお、カフェあたご)、元気チェック(かえで館)にて実施。身近に相談できる場として地域に出向き、地域包括支援センターの周知を図るとともに、ちょっとした困りごとの相談から必要に応じてその後の相談対応につなげていく。									
スケジュール									
月	日時	場所	備考	月	日時	場所	備考		
4月	19日(土)10:00～12:00	コミュニティプレイスあたご	カフェあたご	10月	18日(土)10:00～12:00	コミュニティプレイスあたご	カフェあたご		
5月	17日(土)10:00～12:00	コミュニティプレイスあたご	カフェあたご	11月	15日(土)10:00～12:00	コミュニティプレイスあたご	カフェあたご		
	26日(月)15:00～16:30	カフェシナモン	すみれカフェ		調整中 15:00～16:30	カフェシナモン	すみれカフェ		
6月	21日(土)10:00～12:00	コミュニティプレイスあたご	カフェあたご	12月	20日(土)10:00～12:00	コミュニティプレイスあたご	カフェあたご		
7月	19日(土)10:00～12:00	コミュニティプレイスあたご	カフェあたご	1月	17日(土)10:00～12:00	コミュニティプレイスあたご	カフェあたご		
	28日(月)15:00～16:30	カフェシナモン	すみれカフェ		26日(月)15:00～16:30	カフェシナモン	すみれカフェ		
8月	16日(土)10:00～12:00	コミュニティプレイスあたご	カフェあたご	2月	21日(土)10:00～12:00	コミュニティプレイスあたご	カフェあたご		
9月	20日(土)10:00～12:00	コミュニティプレイスあたご	カフェあたご	3月	21日(土)10:00～12:00	コミュニティプレイスあたご	カフェあたご		
	22日(月)15:00～16:30	カフェシナモン	すみれカフェ		23日(月)15:00～16:30	カフェシナモン	すみれカフェ		
【年間振り返り】									

<任意項目>

【項目】地域住民との関係性の構築の支援	目標値	実績
【実施手段】 愛宕4丁目の移転した都営団地について、移転後に住民からアンケート実施し、住民同士のつながりを望んでいることが確認できた。住民間での交流ができる場を設けることができるように、住民との話し合いを行い一緒にできることを検討し実施に向けて進めていく。	2回	回
【年間振り返り】		

## 2 権利擁護業務・虐待防止・消費者被害

### 【活動方針】

高齢者が住み慣れた地域で尊厳を保持し生活していくために、権利擁護支援、虐待対応、消費者被害防止など行う。親族の支援が受けられない独居高齢者などが安心して生活できる社会資源の勉強会を行い地域住民に向けて権利擁護の普及啓発を図る。また、消費者被害について地域住民への講座など行い被害防止の普及啓発にも取り組む。

### <必須項目>

【項目】 権利擁護業務・虐待防止・消費者被害に関する勉強会開催数	目安根拠: 上下半期に 1 回	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 親族の支援が受けられない独居高齢者などが安心して生活できるように、地域住民に向けた「高齢者あんしんサポート事業」についての講座を権利擁護センターに講師依頼し開催。また、消費者被害防止について地域住民に向けた防犯対策講座を多摩中央警察署へ講師依頼し開催。		2 件 (目安 2 件)	件
<b>【年間振り返り】</b>			

### <任意項目>

【項目】 虐待防止の視点における地域での見守り体制の構築	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 認知症による言動の混乱が高齢者虐待の原因の一つになっていることから、見守り活動を行う民生委員と見守り協力員を対象に認知症と虐待の勉強会を行い、双方に対して知識を深めてもらうことを目指す。	1 回	
<b>【年間振り返り】</b>		

### 3 介護予防ケアマネジメント業務(第1号介護予防支援事業)

#### 【活動方針】

危険な老化のサインに早期に気づきフレイル予防に取り組むことが重要と思われる。フレイルのリスクが高い高齢者を地域の社会資源や総合事業につなぎ、地域住民・第2層生活支援コーディネーター・見守り相談窓口との協働により地域の介護予防を推進する。介護予防ケアマネジメントにおいては適切なアセスメントのもと、高齢者の自己実現につながる自立に向けた支援を行う。

#### <必須項目>

【項目】 通所型短期集中予防サービス(元気塾)利用人数	目安根拠:実績と高齢者人口を基に算出	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 短期集中で専門的なリハビリが必要な対象者を元気塾へつなぐ。包括で実施する元気チェックから介護予防が必要と思われる対象者をつなぎ、予防プランを委託している介護支援専門員にも元気塾の周知をして活用を促す。		29 人 (目安 29 人)	人
<b>【年間振り返り】</b>			

【項目】 通所型短期集中予防サービス(元気塾)から地域介護予防教室等の地域活動につなぐ人数	市設定目標の根拠:利用者の7割を想定	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 介護予防リーダーの地域介護予防教室のほか、サロンや老人クラブなど地域の社会資源へつなぐ。		20 人 (目安 20 人)	人
<b>【年間振り返り】</b>			

【項目】 住民主体による訪問型サービス利用人数	目安根拠:実績と高齢者人口を基に算出	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 住民主体による訪問型サービス以外のインフォーマルサービス(たすけあい活動、自費ヘルパー、配達サービスなど)も活用していく。また、本人の状況に応じて自立支援の視点から訪問型サービスからの移行も検討する。予防プランを委託している介護支援専門員にも住民主体による訪問型サービスを周知して活用を促す。		14 人 (目安 14 人)	人
【年間振り返り】			

【項目】 地域包括支援センター主催による介護予防講座等の開催	市設定目標の根拠:2 回	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 定期的な元気チェックを実施。コミュニティセンターや介護予防リーダーなどの地域住民や、見守り相談窓口と連携しながら、介護予防の普及啓発を推進していく。第1エリア(関戸・一ノ宮)、第5エリア(愛宕・乞田)で各々4 回ずつの開催を予定。第2層生活支援コーディネーター、見守り窓口、社協まちづくり担当者と協力して地域活動を担えるような人材発掘も心がけていく。		8 回 (目安2回)	回
【年間振り返り】			

【項目】 元気塾リハビリテーション専門職訪問同行支援の利用	目安根拠:実績と高齢者人口を基に算出	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> リハビリテーションに関して身体的な評価や助言が必要なケース、市の一般福祉サービスの住宅改修や日常生活用具給付を申請するケースなどについて、リハビリテーション専門職の訪問同行支援を活用する。		10 回 (目安 10 回)	回
【年間振り返り】			

【項目】 介護予防給付において特定のサービス事業所に偏らない	市設定目標の根拠:他市参考値	目標値	実績
【実施手段】 適切なアセスメントのもと、利用者の目標が達成できるように利用者と相談しながらサービス事業所を選定していく。		占有率 40%未満	%
【年間振り返り】			

【項目】 居宅支援事業所に委託する際は特定の事業所に偏らない	市設定目標の根拠:他市参考値	目標値	実績
【実施手段】 個々のケースにより適切な委託先を選定し、利用者へ情報提供を実施。		占有率 50%未満	%
【年間振り返り】			

<任意項目>

【項目】 委託 CM を対象にアルコール性認知症の初期介入等について理解を深める勉強会を開催する	目標値	実績
【実施手段】 日頃の介入困難ケースから課題と感じている、アルコール性認知症の初期介入等について理解を深める勉強会を行い、要介護状態への移行を防ぐように取り組めることを目的とする。	1回	回
【年間振り返り】		



#### 4 包括的・継続的ケアマネジメント業務・地域包括ケアシステムの構築

##### 【活動方針】

地域ケア会議（個別ケース会議、地域課題会議、自立支援マネジメント会議）を活用しながら、地域包括ケアを推進していく。困難ケースなどの課題解決に向け、居宅介護支援事業所と連携して介護支援専門員の支援を行う。

##### < 必須項目 >

【項目】 支援困難事例等に対する居宅介護支援事業所支援ケース数	目安根拠：実績から算出	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 多問題世帯、認知症、権利擁護などの問題を抱えた困難ケースについて、居宅介護支援事業所と連携して介護支援専門員の支援をしながら課題解決していく。ケース管理表を活用して件数など把握する。		5件 (目安5件)	件
<b>【年間振り返り】</b>			

【項目】地域課題会議（わがまちミーティング）の実施 または 地域課題解決に向けた会議の実施または出席	目安根拠：年1回	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 第1エリア（関戸・一ノ宮）：地域課題調整会議Ⅰで上がった課題をベースにし下半期に開催。地域特性として聖蹟桜ヶ丘駅周辺の住宅となる為、昨年同様に隣接する西部包括が担当するエリアとも共通した課題が浮かび上がる可能性が高い。今年度は計画的に西部包括と情報共有を行いながら、地域住民や商業施設等と共に地域課題の解決に取り組む。 第5エリア（愛宕・乞田）：地域課題調整会議Ⅰで上がった課題から、愛宕4丁目の移転した都営団地について住民同士が緩やかなつながりが持てる方法について地域課題会議または地域福祉推進委員会にて検討する。		2件 (目安1件)	件
<b>【年間振り返り】</b>			

【項目】個別地域ケア会議(にこにこ・らくらくミーティング)の実施	目安根拠:5 件	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 日常業務の中から、介護支援専門員の対応困難な事例や地域や関係機関と連携しながら地域包括ケアが推進できるような事例を選定し、地域ケア会議を開催。		5 件 (目安 5 件)	件
【年間振り返り】			

【項目】自立支援ケアマネジメント会議(ぐっとらいふミーティング)の実施	目安根拠:半期に 1 件	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 新規の介護予防プランなどの自立支援に向けた個別課題の検討や自立支援を阻害している地域課題の抽出を包括内で共有しながら選定会議を毎月実施。選定会議の蓄積からケースを選定し、社協の地域福祉コーディネーター・第2層生活支援コーディネーター及びケースに応じて必要な専門職のスーパーバイザーなど参集のうえ、ぐっとらいふミーティングを開催。		2件 (目安 2 件)	件
【年間振り返り】			

< 任意項目 >

【項目】 地域の中で見守り機能のある団体(配食サービス・スタバ・民生委員等)向けの情報交換会を開催する。	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 地域の見守り活動の底辺は配食サービスと考えられる為【食の確保】と【見守り】をテーマに地域に密着している民生委員との情報共有を通して見守りネットワーク構築に活かせると良い。(配食業者・スタバ・民生委員等)	1 回	回
【年間振り返り】		

## 5 認知症施策の推進

### 【活動方針】

認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた場所でより良い環境で自分らしく暮らし続けられるよう支援を行う。チームオレンジ結成のための働きかけでは圏域内のサロンを訪問して地域住民と顔の見える関係を構築しながら、ミニ講座で認知症についても触れつつアプローチしていく。また、認知症カフェの支援も継続して行っていく。

### < 必須項目 >

【項目】コーディネート(社会参加・孤立予防等)が必要な認知症高齢者に関する個別地域ケア会議の開催件数	目安根拠:実績から算出	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 介護支援専門員や地域住民、関係機関などからの相談があった認知症高齢者の事例から選定のうえ、個別地域ケア会議を実施。		1 件 (目安 1 件)	件
<b>【年間振り返り】</b>			

【項目】認知症講座の実施の実施（地域介護予防教室、近所 de 元気アップトレーニング、サロン、事理会、老人クラブ、学校、学童クラブ、企業等に対する認知症サポーター養成講座、その他認知症講座の実施）	目安根拠:実績から算出	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 認知症を知る月間のイベントとして認知症に関する講座などを企画実施。認知症を知る月間に向けて普及啓発を含めサロン・近トレなど訪問にてミニ講座を実施。また、多世代への普及啓発に向けて地域福祉推進委員会でつながりのある児童館、学童クラブ、中学校に認知症サポーター養成講座の開催についてアプローチしていく。		5 回 うち 新規団体 1 回 (目安5回／うち1回は新規団体)	回 うち 新規団体 回
<b>【年間振り返り】</b>			

【項目】認知症サポーターステップアップ講座の実施	目安根拠:運営方針に準ずる	目標値	実績
【実施手段】 昨年度に認知症サポーター養成講座を実施した「すみれカフェえがお」からステップアップ講座の希望もあり、西部包括と合同にて企画実施。その他、チームオレンジとなる可能性のある団体へアプローチしていく。		1 回 (目安 1 件)	回
【年間振り返り】			

【項目】チームオレンジ登録数(令和 8 年 3 月 31 日時点)	目安根拠:運営方針に準ずる	目標値	実績
【実施手段】 チームオレンジとなる可能性のある団体へアプローチして、その団体に応じたステップアップ講座を実施しチームを結成する。		1 チーム (目安 1 チーム)	チーム
【年間振り返り】			

<任意項目>

【項目】認知症カフェの支援	目標値	実績
【実施手段】 永年の活動により定着した「すみれカフェえがお」、R6 年に立ち上がった「カフェあたご」の 2 か所の認知症カフェについて、出張相談も兼ねて参加しながら支援していく。	18 回	回
【年間振り返り】		

## 6 第2層生活支援体制整備事業

### 【活動方針】

多様な主体による互助を基本とした多様な生活支援・介護予防サービスを充実させるとともに、それらのサービスの担い手として高齢者の社会参加を促進し、地域の支え合いの体制づくりを推進していく。

### < 必須項目 >

【項目】地域課題の把握、整理 および 通いの場の戦略会議への参画	目安根拠:実績から算出	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 圏域内で活動している30か所の通いの場の団体を訪問。活動内容や住民視点での地域課題を聴取のうえ、圏域内の地域課題の把握や整理を行う。また通いの場戦略会議へ参画し、通いの場の創出・継続支援により高齢者が自立した生活を維持継続できる地域づくりの推進を図る。		実施 (目安 実施)	
<b>【年間振り返り】</b>			

【項目】近所 de 元気アップトレーニング説明会開催数	目安根拠:実績から算出	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 地域の社会資源の現状を把握・分析しながら、市・社協との協働により、近所de元気アップトレーニング説明会を開催する。つむぎ館での元気チェック & やさしい脳トレからの自主グループ化(認知力アップトレーニング ver.)も見込んでつむぎ館での説明会の開催を検討。		2 回 (目安2回)	回
<b>【年間振り返り】</b>			

【項目】地域課題調整会議Ⅰの開催	目安根拠:運営方針に準ずる	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> ぐっとらいふミーティングのケース選定会議に合わせて実施。日常の相談業務やぐっとらいふ・にこにこ・らくらくミーティングなど個別ケース会議と第2層生活支援コーディネーターの地域の積み重ねから発見される地域課題を整理して振分先を検討する。		2回 (目安 実施)	回
【年間振り返り】			

【項目】生活支援コーディネーター連絡会の参画件数	目安根拠:月1回	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 市及び第1層生活支援コーディネーターとの連絡会に参加し、業務の進捗状況や課題を共有することで業務の円滑な遂行につなげる。また、第2層生活支援コーディネーター間の連絡会に参加しコーディネーター間の連携体制を構築する。		12回 (目安12回)	回
【年間振り返り】			

<任意項目>

【項目】担い手の人材発掘	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 見守り協力員へ個別ヒアリングを実施。地域に関心があり何かをしたいという思いがある方も多く、地域で実現できることをサポートしていく。その方々の強み・してみたいことなど聴取することで、地域に必要な社会資源の担い手としてマッチングに役立てる。	実施	
【年間振り返り】		